

東大島部落農会文書（2）概要

1: 文書群番号	102023
2: 文書群名	東大島部落農会文書（2）
3: 出所	東大島部落農会
4: 家業・役職等	-
5: 地名	兵庫県武庫郡東大島村／武庫郡大庄村東大島／尼崎市東大島／尼崎市大島3丁目ほか
6: 行政区分	兵庫県第7区／西新田組戸長役場／大庄村／尼崎市
7: 歴史	西大島地区とともに中世の大島荘の領域。市城南西部に位置する。 昭和2年（1927）の阪神国道及び阪神国道電軌の開通は、その沿線に新しい市街地の形成を促した。国道開通前（大正末年）の東大島の戸数は36軒、十数年後の昭和12年（1937）においては279軒と約8倍に増加している。昭和20年代中頃は耕作面積23町余、農家戸数24軒であったが、都市化の進行により、昭和46年（1971）には村としての稲作が終了した（『尼崎の農業を語る 262』より）。
8: 伝来	平成13年（2001）8月31日の東大島地区農業史聞き取り調査の際に借用。平成16年（2004）4月に整理・目録作成を完了した。平成25年7月、農会長吉田欣治氏より寄託をうけた。
9: 史料入手先	東大島部落農会
10: 点数	6点（目録件数6件）
11: 年代	明治9年（1876）～昭和16年（1941）
12: 構造と内容	本文書群は、明治初期の絵図2点（池床願い絵図、字限一筆地図帳）と、昭和初期の土地名寄せ帳など土地台帳類2点、地租関係（地租反別割集計表）が2点、計6点で構成されている。これらの史料から東大島地区内の土地所有状況の把握が可能である。
13: 関連史料	東大島部落農会文書（1）
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	近藤浩二